

「第6期大山崎町障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画（案）」に対するパブリックコメント結果

実施期間：令和2年12月25日～令和3年1月25日
 意見件数：1人（2件）

No.	意見概要	町の考え方	修正内容
1	<p>《計画案 44P 第5章 計画の推進に向けて》 (1) 庁内連携体制の強化について、具体的な記述をお願いします。</p> <p>防災面については、庁内の連携が必要と感じる。要支援登録者や、老人も含めて重度と思われる人には、個別に避難計画を作成してはどうか。コロナ禍においては、一時避難所に行けない人がおり、今こそ備えておく時だと思う。</p>	<p>防災面を含めて、庁内での連携体制の強化を図るため、関係課と課題を共有しているところでは、個別に避難計画を作成してはどうか。コロナ禍においては、一時避難所に行けない人がおり、今こそ備えておく時だと思う。</p>	<p>修正前： (1) 庁内連携体制の強化 障がいのある人やその家族が抱える問題や不安、悩みは多岐に渡っており、その生活を支えていくため、福祉のみならず保健や教育、土木など、関係課と連携体制の強化を図っていきます。</p> <p>修正後： (1) 庁内連携体制の強化 障がいのある人やその家族が抱える問題や不安、悩みは多岐に渡っており、その生活を支えていくため、福祉のみならず保健、教育、土木、<u>防災</u>など、関係課と連携体制の強化を図っていきます。</p>
2	<p>《計画案 44P 第5章 計画の推進に向けて》 (2) 乙訓2市1町、京都府との連携の強化について (3) 乙訓圏域障がい者自立支援協議会との連携強化について具体的な記述をお願いします。</p> <p>向日が丘支援学校の建て替えて生じる余地に建設予定の福祉施設や、乙訓福祉施設事務組合の「旧ボニーの学校」の跡地に設置計画をされている障がい者施設については、障がい者本人やその家族にとって大きな関心事である。今の乙訓にないサービスを提供する事業所が開設されることを望む。また、医療型ショートステイが利用できる施設が近くにあれば願っている。</p>	<p>今後新設される施設等については、本町としても引き続き動向を注視し、乙訓圏域で提供可能な障がい福祉サービスの把握に努めるとともに、必要に応じて関係機関と連携、協議しつつ、適切なサービス提供を行ってまいります。 ご提案の内容も含めて、「連携強化」をうたっているもので、計画書の記述自体は原案通りとします。</p>	